

第3回高野口中学校移転改築検討委員会
会議録

開催日時	令和8年2月17日(火)19:00～20:00
開催場所	橋本市教育文化会館3階 第1研修室
出席者 (委員)	廣岡委員、前田(昌)委員、木村委員、飛島委員、向委員、角谷委員、井澤委員、村上委員、前田(泰)委員、北浦委員、森本委員 【出席委員11名】
欠席者	北澤委員
事務局	橋本市教育委員会 今田教育長 教育委員会事務局 岡教育部長、阪口参事 同 丸山教育総務課長、裏川教育総務課長補佐、増谷施設係長 (株)東畑建築事務所:花村、中村、神谷、加藤(まち楽房(有))
次第	1. 開会 2. これまでの検討成果の共有 3. 前回出た疑問点等の見える化 4. 市からの説明 5. 最終検討 6. 委員長宣言 7. 閉会
資料	(当日配布資料) ・議事録(第1回、第2回) ・検討委員会③ ・ニュースレター(第2回) ・前回アンケートまとめ ・候補用地2箇所比較検討のまとめ ・答申書(案)
公開/非公開	公開
傍聴者	5名
その他	なし

【議事要旨】

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
1. 開会	
事務局	<p>本日の会議は、橋本市立高野口中学校移転改築検討委員会条例第6条第2項の規定により、現時点で委員12名中10名のご出席いただいており、過半数の出席がありますので会議は成立していることを報告します。</p>
事務局	<p>橋本市立高野口中学校移転改築検討委員会条例第7条により「会議は公開する」となっていますので、公開の会議としてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員了承)</p> <p>本日の傍聴人は4名です。</p> <p>確認ですが、お手元のニュースレターに委員の皆様の顔が掲載されています。このままホームページに公開される形になりますが、皆さんよろしいでしょうか。</p> <p>(委員了承)</p> <p>それでは、委員長不在のため、検討委員会条例第5条第3項の規定により副委員長がその代理となっています。副委員長に議長をお願いします。北浦副委員長一言ご挨拶をお願いします。</p>
北浦副委員長	<p>こんばんは、この季節ですので、寒かったり暖かかったり体調不良の方もおありかと思います。会議ですので1時間が限度かなと思いますので、出来るだけ凝縮した形のスムーズな会の進行をよろしく願いいたしたいと思います。</p>
2. これまでの検討成果の共有	
東畑建築事務所	<p>あらためまして、こんばんは、これまでの検討委員会の共有ということで、まずは1回目、2回目の内容を振り返りたいと思います。まず1回目としましては、第一印象ということで、皆さんと意見出し合ってもらい、素敵なキーワードをたくさんいただくことが出来ました。</p> <p>2回目では、それぞれの候補地のいいところ、気になるところというのを深めていきました。皆さんから3つのグループでこのようにたくさんの意見を出していただきました。</p> <p>本日の配布資料をご説明します。まず、手元の配布資料とニュースレターをご覧ください。</p> <p>配布資料の位置付けですが、皆様からいただいた全ての付箋を集計しまして、詳細に分類した表を示しております。続いてニュースレターの方は、この配布資料の内容をさらにビジュアル的に分かりやすく簡略化した資料だと思ってください。この配布資料を比較表の方の読み方を説明します。</p> <p>左の方にポイントということで、5つの視点を記載しております。これは前回の皆様とワークした5つの視点となっています。「行きやすさ」、「つくりやすさ」、「周りとの関係」、「使われ方」、「長い目で見て」というようなポイントになっております。皆様の前回出てきた意見を全てこのように付箋の方を分類して貼り付けておきます。それらの意見を重複しているところとか、似ているところとかをまとめて、小分類ということで、このように左の方に私達の方でまとめさせていただきました。さらに赤字で書かれているところが1回目の内容を含めて、コメントの方を追加させて</p>

いただいております。

このような形で候補地AとBで比較出来る様な表という風でまとめてきました。まずポイントごとに比較していこうと思います。

まず1つ目の「行きやすさ」について、候補地Aですが、位置関係について、Aの方は、高野口中学校区の中央に位置するとのことで、中心に近くていろんな方々から通いやすそうだというのが、主意見としてあがっています。一方、候補地Bの方は、子ども達が住んでいるところの地域に位置していると。すぐ北側には国道があって、通学路としては近くて心配だという状態になっています。

続いて、2つ目の「つくりやすさ」について、候補地Aの方については、今現在空き地のために建物が作りやすいのではないかと。この場所は埋蔵文化財の地域指定されておりまして、これについては、設計期間中に調査をしながら進めていくということで、配置の方は更地ということで、自由に作れるですが、調査を踏まえながら、多少影響がでる可能性はあります。今の敷地の地形の方ですが、こちらの方大がかりな造成をしない形で、今の地形を生かしたような工夫が計画の時、必要になってくる。

続いて候補地Bの方ですけれども、今現在小学校の建っている場所になりますので、配置の方も小学校の制約が多かったりとか、工事の期間中も小学校の連携をはかっていけないとか、用地が確保しにくいとか、小学校がすでにあるから、作るにはその制約を受けそうだから。となっています。

続いて、「周りとの関係」は、候補地Aについては、落ち着いた周辺の住宅地で築いた関係となっています。周辺には、すぐ隣には高校であったりとか、保育園があつたりと色々な地域の方と関わりを持つことが出来そうな場所で、主要な意見として関わりを多く作れそう。などがあがっております。続いて候補地Bは小学校があり、小中連携が出来るのか、ソフト面で小学校を含めてこれから考えていかないといけない。小学校との関わり方次第、ということが主要な意見としてあがっています。敷地東側には、最近住宅が立ち並んできており、距離が近いのでプライバシーの配慮が必要です。

続いて、「使われ方」で候補地Aは、場所として地区の中央にあり、地域住民も通いやすく、地域のコミュニティになってきそうな場所になっております。候補地Bは、こちらの場合は、小学校との関係を考えていかないといけない。グラウンドについても、小学校兼用利用で、候補地Aに比べてグラウンドが狭くなることがあがっています。

続いて、「長い目」でみて候補地Aについて、すぐ隣の高校との連携を考えていく必要があるのではないかと。続いて、候補地Bは将来の小学校を考えていく必要があるのではないかと意見が出ております。さらに6つ目の新たな視点ということで、候補地Aについては、「地域との連携」が出ています。

2つの候補地について、2つの資料を比較したところをまとめています。簡略したところニュースレターのグラフでいいところと気になるところを割合としてまとめてみました。数値的には、候補地Aの方が有力ではないかというような分析となっています。

3. 市からの説明

教育総務課長

それでは、本検討委員会の事務局責任者の教育総務課長の丸山からご説明いたします。よろしくお願いいたします。

まず、説明に入る前にですが、委員の皆さまにこれまでの経過等の情報を丁寧に説明する必要があったことや、コミュニケーションをもっと取るべきであった点など、配慮が足りないところがあったことを、まずはお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

最初に、この検討委員会には、高野口中学校の「まちなか」への移転改築候補地として「旧応其中学校跡地」と「応其小学校隣接地」の2候補地を挙げています。

提案するまでの経過として、令和6年10月に庁内で、総合政策部、総務部、建設部、上下水道部、教育委員会の部長や関係部署が集まりプロジェクトチームを立ち上げ、7回にわたり候補地について議論を行いました。

・第1回は、令和6年10月1日に開催しました。旧応其中跡地について協議したところ、開発許可が該当する場合は、国道24号線まで最低9mの道路整備が延長373m必要となるが、隣接東側の道路が都市計画道路に決定しているため幅員12mで整備することが必要との意見がでました。

・第2回は、令和6年10月22日に開催しました。旧応其中跡地、応其小、伊都中央高を含む6候補地を検討するとしました。また、開発行為に関する議論も行いました。

・第3回は、令和6年10月30日に開催しました。前回の6候補地に1箇所追加し7候補地で議論しました。旧応其中跡地、応其小、伊都中央高を含む、高野口町内市有地7か所の候補地について検討を行いました。前記の3か所以外は、「完成までの期間」等の面で実現が難しいため候補地から対象外となり、残った3か所を継続して検討することとなりました。

・第4回は、令和7年5月19日に開催しました。5月7日に知事要望の予定であったが、知事の急逝に伴い延期となったことを受け、旧応其中跡地も含んだ伊都中央高活用プランを中心に開発許可や補助金等の面について検討を行いました。伊都中央高活用プランとは、伊都中央高校のグラウンドに中学校校舎を建設し、旧応其中跡地を高校グラウンドとして利用するプランでした。

・第5回は、令和7年6月3日に開催しました。知事要望が6月30日に決定したことに伴い候補地案について検討を行い、知事協議は伊都中央高校活用プランで進める。上記が不可の場合、旧応其中、応其小で議論するとの結論になりました。

・第6回は、令和7年7月15日に開催しました。6月30日の知事要望の結果報告として開催しました。県知事からは「今の伊都中央高校は生徒や学習環境も安定

しており良い学校になっている。中学生を受け入れるのはとても無理がある」「普段も使うので伊都中央高校を独立させてほしい」との回答を示されたことから、候補地としての伊都中央高校は対象外としました。

・第7回は、令和7年8月14日に開催しました。最終的に、旧応其中、応其小をベースに委託業務を進めることとなりました。

・以上が庁内プロジェクトチームでの主な検討経過です。なお、議事録の公開とのご意見もございましたが、内部協議で公開を前提とした会議の議事録でないため、議事録の公開は控えさせていただきますのでご理解をお願いいたします。

・その後の委託業務については、令和7年10月に入札を行い、株式会社東畑建築事務所と契約を行いました。現地確認の結果、旧応其中跡地については、現状の地形を活かした形で建設が可能である見解とのことで、懸念材料であった開発許可に関する道路拡幅の問題が必須でなくなること。また、応其小学校についても建設可能との見解をいただけたことから、2つの候補地を検討委員会に挙げさせていただきます。

B 候補地について

・応其小について、プロジェクトチームでの検討の初期の段階から、委員の皆さんの検討と同じく、小学校の隣接地というメリットが活かせるのではないかと考え、敷地が狭いことや配置が難しいことは条件としてありますが候補地として検討していました。専門家としての東畑建築事務所の検証を経て、学校を建築できることが分かったことから、検討委員会の場で候補地として、議論していただきたいとの思いから、候補地としてご提案させていただきました。

情報公開について

・委員の皆さまとしては、議論していることをオープンにしてほしいという気持ちは当然かと思えますし、事務局としても、公の検討委員会の中身を公開したほうが良いというのは理解しています。

しかしながら、どちらの候補地になっても用地を拓げるために用地買収が必要になります。そこには長年、住んでいる家や土地があり、地権者のお考えもさまざまかと思えます。同じ市民のかたとして配慮していく必要があると考えていたため、委員のお言葉を借りると「かん口令」とせざるを得ないと判断していました。

ご意見を受けて、遅くなりましたが、本日、第1回、第2回の議事録要約版や資料を市ホームページに公開しましたのでご理解をお願いします。

今回、候補地決定にあたり、時間的なこともあり、住民等のアンケートは実施しませんが、候補地が決定すれば、地権者の方をはじめ関係者の方々にご理解ご協力いただけるよう進めていきたいと思っておりますので、これまでの対応をご理解いただければと思います。

簡単ですが、説明は以上となります。

4. 質疑回答	
教育部長	<p>伊都中央高校の件で、知事からどのような話があって断られることになったのかという、ちょっと要約させていただきますと、伊都中央高校に通う学生との共存が難しいというのが、一番のお話でした。</p> <p>区長連合会からの再度陳情に行った件ですが、市長、議員の方も一緒に行っていて、お断りを受けた以降に、区長連合会の方から、グラウンドを使わせて欲しいという要望を、知事に出されて、区長さんから言っていたことによって、グラウンドの使用は、条件で考えるというお話をいただいたと思います。</p> <p>それから6月30日の県の陳情のやり方、振り返らなかったのかということなんですけど、市長、教育長、議員の方はじめ、すごいメンバーで行かしてもらったかと思えます。</p> <p>振り返りがなかったかということですが、市長も一緒に行ってもらって、それ以上のことは教育委員会としてもできないかというふうに思いました。</p> <p>7月に、県教委からの提案ということだったんですけども、これは県の担当者レベルの提案でしたので、申し上げられません。</p> <p>令和6年になって、旧応其中学校が候補地になった理由としては、開発協議にかからないという専門家の調査等があったところが大きいです。</p> <p>今後、会議の内容について検討委員会の会議につきましては、情報公開という形を原則とします。</p> <p>中学生やこども園の保護者の予定あるのかということなんですけど、こちらはまた検討させてください。今のところは、考えていません。説明会についても同じです。</p> <p>中学校ということがあったんで、余りにもそのこども園っていう保護者ができたら、6年も間が空くので、まずは近い方からという考え方で、条例の方は提案させていただいたところです。</p> <p>用地買収がスムーズにいきそうなのかということなんですけど、A案B案、こちらで候補地決まって、市長に報告して、計画と位置付けてからスタートになります。交渉になりますので、努力次第かなと思います。</p> <p>現状では、私の答えられるのは以上です。</p>
委員	<p>1点だけ、気になるところがありますので、伊都中央高校、区長連合会からの要望に対してのご返答でグラウンドを場合によっては貸すことができるっていうよう</p>

	<p>なお答えをいただいたんですけども、この度、検討委員会の中には、北浦さんも入ってらっしゃいますし、今後連携ですとか、そういったものをもし、A案となった場合、高校との連携っていうのを、前は考えていらっしゃらないっていうことだったんですけど、今後それを検討していくことっていうこともできない感じですか。</p>
教育部長	それは考えていくようになると思います。
委員	<p>要はそれが、市長が知事まで行ってどうのこうのとか、区長がどうなって、そんな次元の話じゃなくて、教育施設の使用に関しては、校長の権限にあるんですよ。だから、伊都中央高校の校長が、中学生のためになるんだったら、ずっとこの部分を中学校の部分とかって言うたら困るけども空いてるときにはどんどん使ってくださいって私が校長なら答える。</p>
教育長	<p>連携っていうのを考えているかいなかかっていうことで、今はないですっていう話をさしてもらっているんですけども、今の具体的な計画としてないだけであって、これまでも、校長同士と管理職同士の交流というのはやっております。だからその中で、話っていうのはこれからも継続して、持っていくしますので、具体的な子供たちの活動の部分については、本当に配慮の必要な子供たちがいるからっていうことを言われていますので、その中で何ができるかっていうことは考えていきたいと思っておりますし、伊都中央の生徒たちも、地域のことにかなりいろいろなことで貢献してくれています。</p> <p>中学生も小学生も一緒になって活動してる場面もありますので、そういった活動はもうすでに行ってるんですけども、カリキュラムとして計画していくっていうことについては、ないというふうで言わせてもらったっていうことで、そこところがちょっと誤解のないようにとらえてくれるとありがたいです。</p> <p>私自身も、できることなら、いろんな世代交流しながら、教育っていうのを豊かにしていきたいという思いは持っております。</p>
委員	<p>こども園の説明会とかは予定はないというふうには伺ったんですけども。今すぐ、建てるのにかかったとしたって5年必ずかかってくるので、今の小学校低学年から子どもも中学生になるので、そこは、こども園、とか小学校とか対象に、いろんな説明お願いしたいと思っております。</p>
教育部長	検討させていただきます。
委員	<p>伊都中央高校を、候補地にできないかなっていう、考えがまだ心にちょっと残ってるんですけど、1回上がった案で1回の陳情で、却下されてしまう、排除されたっていうところで、1回、東畑さんに、資料とか作っていただいて、いろいろ、費用面とか、国交省の補助金の件とか、その辺をしっかりと調べていただいて、本当に可能性がないのかっていうところを、探ってみることはできないでしょうか。</p>
教育部長	<p>今、ちょっと即答しかねるところもあるんですけど県教委の判断もあります。私たちとしたら、できるだけ期間をっていうのもあったので次の方に進むべきかなというところがあって、ちょっと市だけで今答えるのは難しいです。</p>
5.最終検討	
委員	いい施設にすると、子どもは変わります。本当にいい施設にしてあげて欲しいと

	<p>思います。学校に誇りを持ちます。それが一番大事だと思っています。</p> <p>応其中学校の跡地に賛成です。</p> <p>あそこはいいんですけども、狭いっていうのはやっぱり最大のネックだったと思います。それをどう解決するかを、知恵を絞って欲しいと思います。</p> <p>例えば区民の問題とかテニスコートの問題とか、いろいろ子供たちが活動できる、そういう環境を整備してやって欲しいなとこんなふうに思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>私も A 案に賛成です。</p> <p>過去 2 年間ほど、小学校と中学校の先生方の研修会に参加させていただきました。</p> <p>今、小中学校の 10 年間で、どのような子供を育てるかっていうことで先生方の間で今議論されておるところです。</p> <p>前にもちょっと意見書かせてもらったんですけども、小学校と中学校の連携というふうに大事にしたいなというふうに思ってたんですが、ここ、そこへ高校も加わっていただけたら非常にすばらしいものになるん違うのかなあとと思います。</p> <p>小中高ということで、ぜひその視点で進めていただきたいなと。</p> <p>これはハード面とは関係ないかもわかりませんが以上です。</p>
委員	<p>旧応其中学校の提案をしたいと思います。</p> <p>伊都中央高校の案を断念せずに、1 度詳細を調べながら考えて欲しいなっていうのと、もしくは、グラウンドやプールを共用するような形は考慮できないかっていう。せっかく前向きな返答いただいたみたいなので、2 回目に、区長連合会からのお願いで、そういうふうに何とか返事が変わってきてるっていうのは、すごくいい流れだと思うので、ぜひ、諦めずに考えてみて欲しいです。以上です。</p>
委員	<p>私も A 案に賛成です。</p> <p>まちの中心にありますので、ただ制度を、集まりやすいということもあるし、そして仮にそこの高野口中学校の中で、社会教育団体の、1 室というか部屋というかそういうものを作ってくれば、まちの中心なので集まりやすい。</p> <p>西の端、東の端にあつたらもう、社会教育団体の方も、高齢者が多いのでしかも自転車に乗って来れるかという。</p> <p>真ん中で、そこに、社会教育団体が入ってもらうようにしていただけるのであれば、助かるなと思うんです。</p> <p>伊都中央高校の協力体制っていうか、校長の判断で誰がどうだとかあるんやということ言われてもらったのですが、協力体制は市にあるんですけど、幹線道路を挟んでグラウンドへ移動する、プールをするのに伊都中央高校へ行きます。</p> <p>幹線道路があつてプールやグラウンドの授業をするときに移動をさせるのに、大分気をつかった。先生に立ってもらったりとか、この安全面を、そういうのを言ったけども、本当にご協力して施設を貸してもらうのであれば、そこの幹線道路を渡るというのが 1 人や 2 人違いますから、1 クラス 30 名。2 クラス集めて渡るご意見ありますので。環境整備のところも、考えてからご協力願うというふうに感じます。</p>
委員	<p>私は A 案に賛成です。</p> <p>検討委員会にさっきも書いたんですけども、やっぱり子育て世代の、今から中学</p>

	<p>校を新しく作って、新しい中学校に通うであろう子供たちの、やっぱり保護者の意見は絶対必要やと思うんですね。</p> <p>今日こうやって集まっていたら委員の方々は、地域の代表で来ていただいているので、そこら辺はいけると思うんですけども、やっぱり圧倒的にこのメンバーでも少ない。</p> <p>子育て世代の意見じゃないかなあと私は思うので、やっぱりこども園の保護者を次の検討委員会に、こども園のPTA保護者だったりとか、あと小学校の保護者、あとは、若い先生の意見とかも、すごく大事じゃないかなあって思っていて、今結構先生方が多分頑張ってくれてるので、やっぱり先生とか、そういう先生の意見とかも、取り入れて、良い学校を作っていきたいなあって思っています。</p> <p>もしそこに検討委員会のやっぱり枠があると思うんですけども、もし入りきらない場合は、必ずそういう方々にアンケートの実施をしていただきたい。</p> <p>それで意見をいただいて、またこっちで、その案を揉むっていう感じのことをしていただきたいなと思っています。</p>
委員	<p>私もA案で丸にしました。</p> <p>シンプルでこの検討委員会に来ていろいろ知ること山ほどあったんで、その感じでいきますとやっぱり、横の用地買収も含めてですね、やっぱり中学校づくりをスムーズに進めてもらいたいのが一番です。</p> <p>子供たち目線でもう少し掘り下げて、子供たちと、またこう話、いろんなアンケートとってもらうともう少し違った目線で見れるんじゃないのか、ていうのがもっと出てくるんじゃないのかなっていうところを、僕はすごく感じてました。</p> <p>短いんですけど以上です。</p>
委員	<p>私もA案です。</p> <p>言いたいことは大体もともとほぼ同じなんですけれども、伊都中央高校を候補地もしくは連携の議論を、後半も続けて行うという付帯事項をつけて欲しい。こども園のお母さん、若い先生方、近隣住民も含め、随時、子供たちもそうなんですけど、必要な声を、検討委員会に参加できなくても、アンケートでしっかり声を吸い上げるっていうことをしていただきたい。</p> <p>それも付帯事項に入れて欲しいと思っています。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>今までの高野口中学校の生徒は今の中学校のところまで通ってるんだから、通えないことはない。そんな子どもに甘えさせる必要はないと思っています。</p> <p>一番Aが現実味がある。元に戻っただけ。</p> <p>そこに中学校があったところにまた中学校ができるだけの話というふうに思っています。</p>
委員	<p>僕も一応Aと書かしてもらってるんですけど、別にBになっても構わない。</p> <p>そこにしか建てられないんだからそこへ通えばいい。確かにAが1番。真ん中付近でやる。信太からしたら逆に今度は遠くなるけど、このぐらい子供の数が減ってきて、数名ぐらいしか見てないような状況ですので、そこまで応其中学校のところに建ったらそこまで通えばいい。</p>

	<p>一生懸命歩いて帰るとか、中学生になってるんだ、これが小学校だったら心配な部分もありますけども。</p>
委員	<p>応其中学校跡地は、もともと私、いろんなどこから話聞いていたら。相続の関係で、相続してないということで、なかなかできないんじゃないかとずっと言われてました。</p> <p>それが、ここの場所、応其中学校跡地が出てくることは、それをクリアできていると思ってます。</p> <p>県の知事要望で区長連合会で要望したとき、私も出席したのですが、知事の話では、運動会とか、大きな催しものがあれば使ってもらって結構ですとか。なるほど、毎日の授業には、使用出来ない。その検討委員会の話で、言わなあかんことで、回答いただいております次第です。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私もA案です。</p> <p>4つ書いています。伊都中央高校との連携。それから管内の園、学校の代表を審議に加える。できるだけ審議内容を公開してください。子供の意見を入れる。</p> <p>皆さん方と、同じですが、1個だけ違うのは、肝心かなめの高校との連携でいいから、高校の代表にもやっぱり次の会議には入ってもらわないと、意見が全然反映されない。プラス、旧高野口町内には、きのかわ支援学校があります。支援学校の生徒もやっぱり、子供の代表も入ってもらうのがいいと思う。この間の高野口小学校150周年。子供ら本当に主役で動いてくれた。</p> <p>だからいろんな子供議会じゃないけども市への要望なんかも、今、子供は出しているんやけども、そんな視点でアンケート全部って言うてくれたけど、何らかの形で関わらせてください。</p> <p>県立学校も中に入れてあげてください。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私もA案と書かせていただいています。</p> <p>もう同じ内容になるんですけど重ねていきます。</p> <p>伊都中央高校との連携を継続して欲しい。市民全員が情報を共有できるようなオープンにしてほしい。</p> <p>私が最初から言ってた、市民全員が通える中学校にしてください。</p> <p>50年後の明るい未来を創造してすべての思いを形にしてください。</p> <p>私から以上です。</p>
6.委員長宣言	
木村委員長	<p>この答申の、付帯事項をまとめていただいたご意見、こちらは事務局の方と、私と副委員長中心で確認して出させてもらうんですけども、一旦こちらの、資料見てもらったら読み上げる必要ないかと思うんですけども、私たちの、全会一致というか、全員の総意ということで、橋本市立高野口中学校の移転改築用地として、応其中学校跡地を適地とします。</p> <p>以上となります。</p>

	<p>あとは付帯事項ついてくるので、今は一旦ここでしかこのままのこの表現しかできないんですけどもご了承ください。</p> <p>また答申、お渡しする予定等々は事務局から、ご連絡させていただいて、市長に直々に私が代表させていただいて、渡したいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>答申をいただきましたので、以上をもちまして、第3回高野口中学校改築検討委員会を終了いたします。</p> <p>皆さんのおかげをもちまして、答申案が決定されました。</p> <p>このメンバーで行う委員会はこれが最後になります。本当にありがとうございました。次は基本計画に関する検討委員会になりますけども、8年度に予定していますので、その節にはよろしく願いいたします。閉会に当たりまして、今田教育長からご挨拶申し上げます。</p>
(今田教育長)	<p>3回にわたって検討いただきました。</p> <p>本当にありがとうございました。</p> <p>皆さんの議論の中で、中身っていうのがすごく充実したものにさせていただけたとそんなふうに思っております。</p> <p>その中でも、何より、お互いの思いの中で意思疎通ができていなかったところ、少しでも埋めていく形の中で、こうやって議論を進めていくことができたということ本当に感謝申し上げます。</p> <p>これで、用地については、市長にこの後答申いただくわけなんですけれども、それを受けて、私たち、どのように進めていくかをこちらの方で決定していかなければなりません。</p> <p>そして、次の段階として学校の中身についても、検討していくこととなりますので、皆様方には、今後とも、何かとご協力をお願いすることが出てこようかと思っておりますけれどもどうか今後ともよろしく願いしたいと思います。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>
7. 閉会	